

## 輪島市防災教育研究会報告書

### [輪島市防災教育研究会について](#)

#### [活動概要](#)

#### [活動・授業内容](#)

#### [ワークショップ1 防災研修](#)

#### [ワークショップ2 子ども防災研修](#)

#### [ワークショップ3 輪島市立図書館絵本お話し会](#)

#### [ワークショップ4 大屋公民館親子防災教育研修](#)

#### [ワークショップ5 少年の主張輪島大会](#)

#### [ワークショップ6 防災研修](#)

#### [報道](#)

#### [総括と今後の課題](#)

## 輪島市防災教育研究会について

2007年5月上旬にNPO国境なき技師団（以下EWBJ）防災教育部の活動の一環として、早稲田大学の濱田教授から、輪島市の里統一郎先生を通じ、輪島市教育委員会に2007年3月25日発生の能登半島地震で多大な被害を出した輪島市において防災教育活動を行いたい旨の依頼を行った。そして我々京大防災教育の会（以下KIDS）と早大防災教育支援会（以下WASEND）が合同で小中学生の夏期休業中に、ワークショップ形式にて防災教育活動を実施することで双方合意し、実施するに至った。

#### 活動メンバー

濱田政則先生 早稲田大学理工学術院教授  
宮島昌克先生 金沢大学大学院自然科学研究科教授  
清野純史先生 京都大学大学院工学研究科准教授  
塚本俊也先生 東京外国語大学大学院客員教授  
国崎信江さん 危機管理アドバイザー  
京大防災教育の会  
早大防災教育支援会

## 活動概要

<日時> 2007年8月16日～20日  
<場所> 石川県輪島市内の公共施設  
<対象> 輪島市内の小学生，親子が中心

## 活動・授業内容

輪島における各ワークショップの活動記録を以下に記す。

### ワークショップ1 防災研修



日時：8月17日(金) 14:00～16:00

場所：諸岡公民館

対象：公民館の職員

#### 概要

塚本先生より、阪神大震災におけるボランティア派遣の話。避難所を運営する際に留意すべき事項の確認。自治体として用意するマニュアルについて。

宮島先生より、災害事例を交えながら、地震の発生確率と、火事や交通事故の発生確率の比較よりおこりやすさを認識や地震の周

期等の説明。

清野先生より、地震発生のメカニズムの教え方の話：パワーポイントを用いて、職員の方にも参加していたがく形式。

## ワークショップ2 子ども防災研修



日時：8月18日(土) 9：00～12：30

場所：輪島公民館

対象：河合小学校の生徒19人

### 概要

グループに分かれて防災まち歩きを行い、普段の通学路などで地震が起こったときに、危ない箇所の確認をする。また、消火栓などの消火施設も同時に確認し、その利用の仕方を学ぶ。

その後、防災マップ作りを行い、学んだことのまとめと知識の定着を図った。

## ワークショップ3 輪島市立図書館絵本お話し会

日時：8月18日(土) 14：00～15：00

場所：輪島市立図書館

対象：輪島市内の幼稚園、保育園生及びその兄弟、両親

### 概要

絵本を使うことで小さい子にわかりやすく防災の知識を伝えた。また、地震発生時のだんご虫の歌遊びや火災時のアヒルの歩き方などを実演し楽しみながら学ぶことで防災の意識を高めてもらう。

シートから包帯を作る実習も行った。輪島市の備蓄倉庫に保管するもので、包帯には作成者のメッセージを書いた。

## ワークショップ4 大屋公民館親子防災教育研修





日時：8月19日(日) 9：00～11：00

場所：大屋公民館

対象：30名（近辺の家族10組 高校生2名）

#### 概要

わが家の防災マニュアルを家庭ごとに作成してもらう。マニュアルを家に持ち帰り、家族全員で話してもらい、家族を大切にすることが重要であることも伝える。  
レクリエーションにおいては、だんご虫のポーズや、歌遊びなどで、地震時の安全な姿勢を確認してもらった。

## ワークショップ5 少年の主張輪島大会

日時：8月19日(日) 13：00～16：15

場所：輪島市文化会館

#### 概要

少年の主張輪島大会の審査時間中に、早稲田大学理工学術院教授の濱田政則教授による講演、KIDS・WASENDのそれぞれの代表による団体の活動紹介を行った。

## ワークショップ6 防災研修

日時：8月20日(月) 10：00～12：00

場所：輪島市教育研究所

対象：地元の小中学校の先生

#### 概要

塚本先生による学校の危機管理、災害後のトラウマに関するご講演（事前のアンケート結果を基にパワーポイント、配布資料を用いて質疑を交えながら）。

## 報道

活動の最中、地元新聞社からの取材を頂き新聞記事としてとりあげていただいた。  
以下にその内容を紹介します。

# 早大・京大生ら 児童に防災教育

輪島

能登半島地震で大きな被害を受けた輪島市で、小学生を対象にした子ども防災教育研修会が十八日、輪島公民館で開かれた。市教委、特定非営利活動法人（NPO法人）国境なき技師団、早大防災教育支援会（WASE ND）、京大防災教育の会（KIDS）の主催。

分たちの住んでいる場所での危険な個所や注意する点について説明した。この後、全員で外へ出て、公民館周辺の市街地を探索。街角に設置され



小学生対象の「子ども防災教育研修会」を開く早大生と京大生＝輪島市内で

ている消火器、消火栓、防火水槽はじめ、災害時に倒壊したら危険なブロック塀、自動販売機、神社や小学校、広場などの場所を見つけて、持参した地図にマークを付け「防災マップ」作りに挑戦した。

国境なき技師団や早大生らは小学生以外にも二十日まで、市内各地区で公民館職員、親子、教職員を対象に同様に防災教育研修会を開き、災害に對して日ごろの備えの大切さを訴える。

（石本光）

## 災害時の被災者受け入れ方法学ぶ

輪島・諸岡公民館  
輪島市教育委員会など

の市教育ワークショップは十七日、同市門前町道下の諸岡公民館で開かれ、公民館職員が、災害が発生したときの被災者の受け入れ方を学んだ。

午後二時十分、同二時五十分、同四時三十五分、同五時十五分、同五時四十分の五回に分けて、十分間から二十分間行われる。地元バンドの演奏やゲストの田川寿美さんや上杉てつやさんらによる歌謡ショーなど多彩な催しが祭りを盛り上げる。

募集は十月十五日まで。お問い合わせは健康福祉課 子育て支援係 0767-1114へ。

輪島市で防災意識を高めようと、NPO法人国境なき技師団と早大・京大の防災教育支援サークルが市教委と連携し実施した。京大准教授の清野純史氏と金大教授の宮島昌克氏が講師を務め、災害が発生してからの時間の経過に合わせた被災者への接し方などを指導した。ワークショップは二十日まで開かれ、市内の児童への防災教育活動などを進めていく。

ない。顔色が

局  
◇…対照的に帰国後、「不安  
どつたけど豪州が好きになっ

## 総括と今後の課題

今回のワークショップでは、公民館職員、親子、教職員と対象が多岐にわたる中でそれぞれに研修内容が異なったために、輪島市教育委員会の希望に沿ったプログラムの策定、資料の作成、人材の選定など限られた時間の中で厳しい局面もあった。しかし個々が可能な限りこれまでの経験や英知を集積し責務を果たしたことで、期待以上の評価をいただくことができた。

最終日前日の新様との意見交換会では、来年、再来年と継続を希望しているが全く同じ内容でなく、ステップアップしていけるようなものであるといい。具体的には、公民館職員が講師として防災教育が実施できるように指導してほしい。パワーポイントを、一から作製するのは高度であり、今回のワークショップの内容を一度で覚えるのは難しいと感じた。これらの感想を受けて、防災教育を継続して実施していただけるような仕組みを意識した支援を考える必要があると思う。次年度までの間には、メールでのやりとりを中心に情報提供、講師からの指導などを行っていきたい。